

講義名	中小企業論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	藤川 健		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・プライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
本講義の目的は、中小企業が日本経済において果たしてきた役割を理解することである。具体的に述べれば、本講義では、(1)日本の中小企業を支えるためにどのような政策を持つのか、(2)日本の中小企業がどのような構造で成り立っているのか、(3)日本の中小企業がどのような経営を行っているのかの3点を総合的に学習する。

到達目標
(1) 中小企業とはどのような存在かを理解できる。 (2) 中小企業が直面している今日の環境変化を分析することができる。 (3) 中小企業が取るべき行動を経済学や経営学の基礎理論を踏まえて説明できる。

提出課題
講義中に理解度を確認するための小テストを実施する。また、講義の中では質問や意見を求めることがある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
講義の中で解説する。

評価の基準
期末試験（70％）と小テスト（30％）で総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他
授業では、毎回出席することと私語を慎むことを望む。

教科書
. 授業中に指示する。.

プリント資料及び参考文献
必要に応じて適宜紹介する。

授業計画
第1回 「ガイダンス」（授業の目的や進め方などを学ぶ） 第2回 「中小企業の定義」（中小企業の定義と果たしてきた役割を学ぶ） 第3回 「経済発展と中小企業①」（高度経済成長期までの中小企業の変化を学ぶ） 第4回 「経済発展と中小企業②」（高度経済成長期以降の中小企業の変化を学ぶ） 第5回 「中小企業政策の展開」（中小企業政策の展開について学ぶ） 第6回 「中小企業と金融①」（中小企業金融の特徴と問題点を学ぶ） 第7回 「中小企業と金融②」（中小企業が利用できる金融制度について学ぶ） 第8回 「下請システムと中小企業①」（日本の下請システムについて学ぶ） 第9回 「下請システムと中小企業②」（日本の下請システムの変化を学ぶ） 第10回 「産業集積と中小企業①」（産業集積とはどのようなものかを学ぶ） 第11回 「産業集積と中小企業②」（産業集積が注目されている政策的背景について学ぶ） 第12回 「グローバル化と中小企業」（グローバル化の中での中小企業経営を考える） 第13回 「情報化と中小企業」（情報化の中での中小企業経営を考える） 第14回 「ネットワークと中小企業」（中小企業経営におけるネットワークの重要性を考える） 第15回 試験とまとめ（期末試験を実施する）

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
私たちの身の回りには多くの中小・ベンチャー企業が存在している。そのため、常日頃から企業に関する身近な事柄に興味・関心を持つように心掛けて欲しい。さらに、企業同士、企業と地域など中小・ベンチャー企業と身の回りのトピックスが如何に関わりを持つのかを意識し、新聞や雑誌記事に目を通す習慣を身につけて下さい。 各回に必要な予習・復習（並びに時間） 復習：授業中に出てきた企業（大企業・中小企業・ベンチャー企業）を各種の媒体で調べること（1時間） 予習：次週で学習する項目に関して授業で案内する参考 文献の該当箇所を熟読して臨むこと（1時間）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
